

海の中のゴミについて

水俣の海で一番多いゴミは、プラスチックゴミで、その次に多いゴミは、たばこのフィルターや空き缶などが多いそうです。

その他に、エギなどは、一年間に約100~200個ほど回収されています。



水俣の海を
きれいに！

ゴミ拾い活動

一回のゴミ拾いで集まったゴミの量は4~5人で1時間ゴミ拾いをするとゴミ袋(40L)1袋分だそうです。またその中でもペットボトルや食品の包装容器、プラスチックやビニール袋がほとんどだそうです。

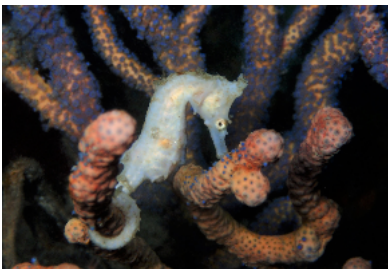
年に1回の水俣川河口の海岸漂着ゴミ回収では、7~8人で3時間ゴミ拾いをすると、ゴミ袋(40L)6~8袋分です。ペットボトルや食品の包装容器、プラスチックやビニール袋がほとんどだそうです。軽トラックの荷台1台分の流木を回収したそうです。



浜辺に落ちているゴミの量はどれくらい

水俣の沿岸(恋路島含む)のプラスチック系の漂着ゴミは、おそらくゴミ袋(40L)50~100袋分、あるいはそれ以上あると思われます

2007年3月、8名で約2時間、恋路島でプラスチック系の漂着ゴミの回収を行いました。その時はゴミ袋(40L)20袋分程を回収したそうです。



より美しい水俣の海へ

かつて「死の海」とまで呼ばれた水俣の海は、現在、生き物たちが数多く生きる海へと復活しています。もっともっと美しい海になるように、ポイ捨てをしない、分別をするなどをやっていきましょう。

取材協力・写真提供
SEA HORSE 森下誠様